

問 観光客への影響は。

村長 地震発生直後の調査では、宿泊施設のキャンセルや施設の修繕の影響は、45営業所からの回答によるところで被害額は合計2300万円でした。今後も地震によるキャンセルや予約状況が懸念されるところであり、第2回目の被害状況調査を年内に実施いたします。

問 震災に対応した緊急的な誘客対策は。

村長 北アルプス3市村観光連絡会では、大北管内の索道事業者や県と連携して、「風評を防ぐための正確な観光情報の発信」を重点に、スキー場の安全性やオープン情報、スキーシーズンの話題等の告知、旅行会社に向けての情報発信等に取り組んでいます。長野県学習旅行誘致協議会による緊急キャラバンを行い、村も参加しました。マスコミ訪問や「銀座NAGANO」でのPR、旅行社等招聘事業を行う予定です。県を通じて観光庁及び日本政府観光局に対し海外への情報発信をお願いしました。

また、副村長と観光課長が、日本政府観光局を訪問し、村の被害状況の説明と、引き続き正

確な情報や、HAKUBA VALLEYの魅力発信についてお願いしました。

問 今後の村づくりの方向性は。

村長 被災地区のコミュニティの強さが、迅速な救助活動につながり、多くの命を救ったものであると考えています。地域の「絆」こそが、今後の村づくりの根幹にも関わるものであると思います。今回の震災を受けて、今後も更に「災害に強い村づくり」を推し進めていく必要があります。その指針となる白馬村地域防災計画の見直しを行いたいと考えています。

問 避難所となっている公民館等の耐震対策が急がれるが、大町市や小谷村と協力して、国や県への財政支援を要望しては。

村長 相談して、国、県へ積極的に要望していきます。

問 地域防災計画と都市計画を連携させた防災都市計画を策定し、総合計画に盛り込んでいく予定は。

村長 調査に入っている大学の資料を参考にしながら、積極的に取り組んでいきます。

問 村の復興は。

村長 震災前の状況に戻すことを目的とするのではなく、「白馬の再生」を目指していくことが必要と考えています。被災された皆様に対し、柔軟かつ可能な限りの支援を行い、地域に留まって暮らすとい

う選択をしていただけるように努力してまいります。



旅行者への説明会が開催されました



お知らせ

村内有志の皆さんでステッカーを作成しました。復興にむけて、みんなで助け合い、難局を乗り越つていこうという思いを込めたものです。議会事務局に若干在庫がございますので、ご希望の方は議会事務局にお問い合わせください。なお、役場総合窓口にもおいてありますので、ご自由にお持ちください。